

令和六年度 入学式

## 式 辞

不破高坂が桃花色に染まり、春爛漫を感じさせる今日  
この佳き日に、岐阜県議会議員木村千秋様をはじめと  
して、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席のもと、  
令和六年度 岐阜県立不破高等学校 入学式を挙行  
できますことを、心より感謝申し上げます。ただ今入  
学された七十三名の新入生のみなさん、ご入学おめで  
とうございます。在校生・教職員を代表して心より歡  
迎いたします。

また、保護者の皆様におかれましては、晴れの日を迎  
えられ感慨もひとしおのこととお察し申し上げます。  
新入生の皆さんに最初に私の話をします。私は幼いと  
き、鬼がとても怖かったです。夜になると鬼に襲われ  
ると思い、外に出ることも不安で、心配になりました。  
それが年を重ねるうちに私は鬼を恐れなくなりました

た。それは、成長するにつれ世の中のことを徐々に知り、鬼は存在しないという正しい情報を得たからです。

皆さんの中には、不安や心配な気持ちで今日を迎えた人もいるかもしれません。不安や心配を無くすためには、正しい情報を得ることが大切です。新しいことを学ぶということは、安心して人生を送ることにつながります。不破高校の先生方は、そんな皆さんを応援する先生ばかりです。例え失敗しても、間違えても構いません。

頑張りとうとする意志を不破高校の先生方は応援します。

国語や英語などの言語文化を学べば、多様な人々の存在を知り、共に平和を築く心を養うことができるでしょう。地域の歴史や地理、動植物を学べば、私たちの暮らしが如何に貴重で、それを次世代に受け継ぐ価値があることを知るでしょう。数学や科学、簿記を学べば不変の真理を自分のものにし、世界中どこでも通用

する対応力をつけることが出来るでしょう。体育や家庭科を学べば、明るく健康で生きること、そして命の

尊さを学べるでしょう。芸術を学べば、創造性や感性を磨くことで、日々の暮らしをより豊かにする心を育むことができるでしょう。不破高校での学びを通して、皆さんは社会で自立できる人へと成長するでしょう。

私には鬼を恐れなくなった理由がもう一つあります。それは鬼がもつ威圧するような武力や、身勝手な振る舞いは世の中では、評価されないと分かったからです。重要なこと、本当に評価されるべきことは目にみえない分かりにくいものです。皆さん一人ひとりの心の中にはきつと誰も知らない、あなただけがもっている価値があります。それを大切にしてください。また仲間がもっているその価値を尊重しましょう。

その人が大切にしているものを尊重することこそ重要なことなのです。

最後になりましたが、保護者の皆様も、お子様の高校生活については、期待のみならず、不安を感じておられることと思います。私たち不破高校の教職員は、お子様のこれから、未来しか見ていません。温かさとしさ、そして熱意をもってお子様の成長を支援してま

いります。家庭と学校が連携し、それぞれの役割を果たしていくことで、お子様の将来をより明るくものにしていきたいと考えています。新入生の皆さんが、今日の感激を忘れることなく、仲間とともに、希望に向かって歩まれることを祈念して、祝辞といたします。

令和六年四月九日

岐阜県立不破高等学校長

早野 宏樹